2022.6.　作成

2022年
晚夏・秋播用

イタリアンライグラスで粗飼料不足の解消を!

国や県などで育成した優良品種の紹介

イタリアンライグラス　きららワセ

登録品種
海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)

早生～中生、低温伸張性に優れた4倍体品種

各地の現地実規模栽培で多収と評価の高い品種

☆葉幅が広く、葉は大型で多収。２倍体にはない魅力。
☆初期生育旺盛で低温伸張性に優れ、播種遅れにも最適。
☆耐病性に優れ、９月下旬～１０月上旬にエンバクと混播する事例も増えています。年内はエンバクを主体に収穫、土砂混入も少なく、翌春は２～３回の収穫。
☆既存の４倍体晩生種と草型が異なり、立性で耐倒伏性も改善された品種です。

育成：山口県農林総合技術センター

イタリアンライグラス　はやまき18

登録品種
海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)

早生種で唯一のいもち病抵抗性品種

既存の早生種では困難であった早播きが可能になります。

☆九州など温暖地で９月中旬～１０月上旬に極早生エンバクと混播、年内はエンバク主体に収穫し、翌春「はやまき18」を２回収穫する。いもち病抵抗性を活用する省力栽培です。
☆収量性と耐倒伏性は良好、他の早生優良品種と同様です。
☆地域適応性は東北南部から九州・沖縄までの広域に適する。

育成：日本草地畜産種子協会 飼料作物研究所（栃木県那須塩原市）

イタリアンライグラス　ナガハヒカリ

中生4倍体品種

↑　右:積雪害に強い
「ナガハヒカリ」

積雪地帯で長年の信頼で栽培されています。

お知らせ：今年の秋播きから種子を再供給いたします。

・多雪地域や北東北低標高地の寒冷地に向く。
　畑地や水田で安定した収量確保が可能な唯一の品種です。
・連続積雪120日までの積雪地域に向く。

育成：農研機構（北陸農業研究センター）

イタリアンライグラス　Kyushu1（キュウシュウ　ワン）

品種登録出願中(出願公表中)
海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)

極早生種のいもち病抵抗性品種

いもち病抵抗性を上手に活用してください。

☆南九州平坦地９月中旬播種で年内に出穂する。
　極早生エンバクと混播で年内に乾物収量を高めて収穫ができる。翌春１～２回の収穫に向く。
☆ソメイヨシノ開花頃の３月下旬に出穂します。
　根量少なく早期水稲の作業もしやすい品種です。
☆早播きトウモロコシの前作栽培に適します。

育成：農研機構 九州沖縄農業研究センター（熊本県）

イタリアンライグラス　ワセユタカ

初期生育良好で長年の信頼

・関東以西～九州地域の通常栽培向けベストセラー早生品種。
・早春の低温期から生育良く、茎数多く、安定多収な品種。

育成：山口県農林総合技術センター

イタリアンライグラス　ワセアオバ

降雪地帯を中心に長年の信頼

・南東北～温暖地の耐寒・耐雪性やや良好なベストセラー。
・やや直立型で、葉幅がやや広く、安定した早生品種。

育成：農研機構
（北陸農業研究センター）

イタリアンライグラス　はたあおば

・東北南部～中国四国までの積雪の少ない地域。耐倒伏性に優れる。
・乾物収量高く、安定した早生品種。

育成：茨城県畜産センター

登録品種　海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)

イタリアンライグラス　ニオウダチ

草丈やや低い、耐倒伏性

・関東～四国、九州地域の通常栽培に向く早生品種。
・茎はやや太めで強く、耐倒伏性に優れる。

育成：農研機構　畜産研究部門

イタリアンライグラス　ヒタチヒカリ

耐倒伏性の4倍体

・北関東～九州地域の通常栽培に向く中晩生品種。
・耐倒伏性に優れ、再生、耐病性も良好で、安定多収な品種。

育成：茨城県畜産センター

イタリアンライグラス　アキアオバ3

長期利用が可能

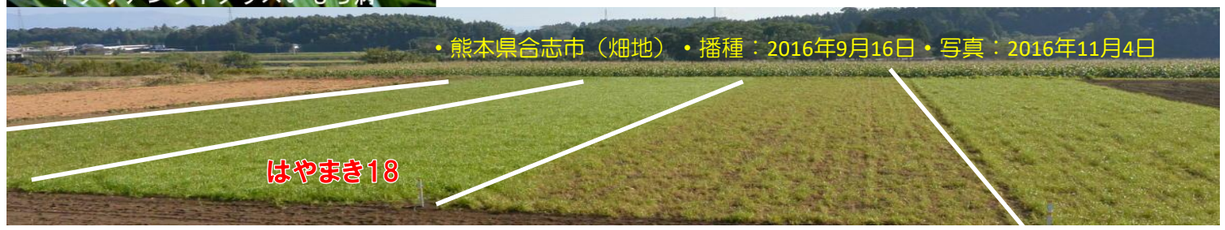
・北関東～九州地域に適する。
・４倍体で越夏性に優れる晩生品種で、極長期利用が可能。

育成：茨城県畜産センター

登録品種　海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)

○イタリアンライグラスのいもち病

【いもち病の発病は温暖化で拡大が懸念されます。】
いもち病の感染適温は25℃前後です。
関東以西の９月～１０月上旬に発病します。
イタリアンライグラスの早播き、エンバクと混播の早播きではいもち病の発症リスクが高まります。抵抗性品種を利用しましょう。
注意：「ガルフ」（旧名：普通種）はいもち病に極弱の品種です。



○ **イタリアンライグラスの播種量**　適期播種時：10ａ当たり 2～4ｋｇ。早播き・遅播き時：10ａ当たり3～5ｋｇ。

○ **イタリアンライグラスとエンバクの混播播種量**　10ａ当たり ｲﾀﾘｱﾝﾗｲｸﾞﾗｽ：2～3ｋｇ、エンバク：4～5ｋｇ。

一般社団法人 日本草地畜産種子協会　03-3251-6501
東京都千代田区神田紺屋町8 NCO神田紺屋町ビル
飼料作物研究所（那須塩原市）0287-37-6755
九州試験地（熊本県合志市）　096-348-3445

○ 公的機関等で育成された牧草地用優良品種

オーチャードグラス　アキミドリⅡ

- 早生。
- 東北北部～九州の高冷地向。
- 耐暑性に優れる。
- 放牧、採草利用いずれも可。
- うどん粉病に強い。

育成：農研機構 畜産研究部門

オーチャードグラス　まきばたろう

- 中生。
- 東北北部～九州の高標高地。
- 永続性に優れる。
- さび病などの病害に強い。

育成：農研機構 畜産研究部門

登録品種
海外持出禁止（公示（農水省HP）参照）

ペレニアルライグラス　夏ごしペレ

新発売

2022年より新発売です。

- 年平均気温 9～12℃の寒冷地向き。
- 越夏性が向上。
- 初期生育、栄養価に優れ、放牧地の追播や採草利用も可能。
- 排水不良な転作田でも利用可能。

育成：農研機構 東北農業研究センター
山梨県

品種登録出願中
海外持出禁止（公示（農水省HP）参照）

ペレニアルライグラス　ヤツカゼ2

- 中生
- 本州の積雪地や高冷地に向く。
- 栄養価に優れる。
- 放牧、採草利用いずれも可。

育成：山梨県

登録品種　海外持出禁止（公示（農水省HP）参照）

ハイブリッドライグラス　ハイフローラ

- 中生の４倍体。
- 本州の高冷地、準高冷地で越夏性、越冬性に優れ、採草利用向き。

育成：山梨県

チモシー　クンプウ

- 極早生。採草利用向。
- 東北北部、高冷地向。
- 茎径太く、再生力も旺盛。

育成：北海道立総合研究機構 北見農業試験場

ギニアグラス　うーまく

- 南西諸島向き。
- 極晩生で極多収。
- 耐倒伏性で再生力良好で、永続性に優れる。

育成：沖縄県

登録品種
海外持出禁止（公示（農水省HP）参照）

ギニアグラス　ナツカゼ

- 関東南部～九州南部向。
- 青刈り、乾草、ロールベール利用可。
- ネコブセンチュウ低減効果有。緑肥利用多。

育成：農研機構 九州沖縄農業研究センター

秋播き　牧草飼料作物種子　注文書

注）ご注文は農協・専門農協等へ。
農協・専門農協等の注文書に品種名がない場合、切り取って使用してください。

注文年月日：　　年　　月　　日

注文先		申込者	

草種・品種名	注文数量（kg）	草種・品種名	注文数量（kg）
イタリアンライグラス「はやまき18」※1		イタリアンライグラス「ナガハヒカリ」	
イタリアンライグラス「きららワセ」※1			
イタリアンライグラス「Kyushu 1」※2		エンバク「たちあかね」※1	
イタリアンライグラス「ワセユタカ」			
イタリアンライグラス「ワセアオバ」			

※1 登録品種 海外持出禁止（公示（農水省ＨＰ）参照）。※2 品種登録出願中 海外持出禁止（公示（農水省ＨＰ）参照）。

2022年
晩夏・秋播用

短期栽培作物　エンバクで粗飼料不足の解消を！
農研機構で育成した優良品種紹介

エンバク　極早生の中　たちあかね

登録品種
海外持出禁止（公示（農水省HP）参照）

耐倒伏性で評価されています。

出穂期の早晩は極早生の中、多数の現地実証栽培で評価されました。

- 倒伏に強く、早播き年内収穫は多収。遅播きの翌春収穫も多収。
- イタリアンライグラスと混播の翌春収穫も多収。耐病性も強い。
- 播種量：（通常播種時）４～８kg/１０ａ
  （ｲﾀﾘｱﾝﾗｲｸﾞﾗｽとの混播時）ｲﾀﾘｱﾝﾗｲｸﾞﾗｽ　２～３kg/１０ａ
  ＋ エンバク　４～６kg/１０ａ

○ エンバク「たちあかね」とｲﾀﾘｱﾝﾗｲｸﾞﾗｽいもち病抵抗性極早生品種「Kyushu 1」、同早生品種「はやまき18」との作付体系例

イタリアンライグラスとエンバクの混播で多収穫。９月播種のイタリアンライグラスはいもち病抵抗性を活用する。

○：播種、▼：収穫	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
混播　「Kyushu1」+「たちあかね」	○	----------	----------	K+た-	▼	----------	----------	K-▼	
混播　「はやまき18」+「たちあかね」	○	----------	----------	は+た-	▼	----------	----------	は-▼	-----は-▼
混播　「はやまき18」+「たちあかね」			○	----------	----------	----------	----------	は+た-▼	-----は-▼

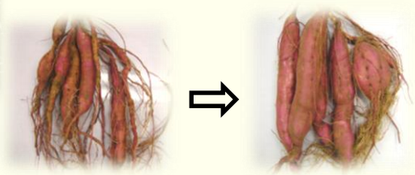
エンバク　極早生の中　はえいぶき

- たおれに強く多収。「たちあかね」より若干早生。
- 東北南部から九州までの年内出穂期利用が可能。
- 播種が9月下旬に遅れても九州では年内出穂が可能。
- 播種量：（通常播種時）４～８kg/１０ａ
  （ｲﾀﾘｱﾝﾗｲｸﾞﾗｽとの混播時）ｲﾀﾘｱﾝﾗｲｸﾞﾗｽ　２～３kg/１０ａ
  ＋ エンバク　４～６kg/１０ａ

エンバク　極早生の中　たちいぶき

登録品種
海外持出禁止（公示（農水省HP）参照）

- サツマイモネコブセンチュウの抑制効果が確認されている。
  サツマイモ栽培畑の緑肥に最適、飼料生産も良好な品種です。
- 倒伏に強く多収。冠サビ病抵抗性は極強。
- 播種量４～８kg/１０ａ（緑肥は多めに播種）



（センチュウ抑制効果の実証例）
夏播き栽培の年内収穫後の圃場ではセンチュウ密度が低下し、翌春、その圃場にサツマイモを栽培すると写真のような差が見られました。

○ 記載の牧草種子は、農協・専門農協・種苗店にご注文下さい。 当協会の牧草種子取り扱い会員は ホクレン、雪印種苗㈱、カネコ種苗㈱、JA全農、全酪連、タキイ種苗㈱、宝種苗㈱、㈱宮崎緑肥、日本緑農㈱ 等です。